

尾張旭市教育委員会との連携協定締結式 実施結果

1. 開催日時：平成 28 年 5 月 25 日（水）10:00～11:00
2. 会 場：長久手キャンパス 学長室
3. 出席者：玉置 基 氏（尾張旭市教育委員会 教育長）
山下 浩司 氏（尾張旭市教育委員会教育行政課 指導主事）
高島 忠義（愛知県立大学 学長）
望月 彰（愛知県立大学教育福祉学部 学部長）
池田 周（愛知県立大学教職支援室 室長）
4. 内容：中央教育審議会が平成 27 年 12 月 21 日にまとめた答申「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について ～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～」において、大学の教職課程に「学校インターンシップ」を導入することが明記されました。この「学校インターンシップ」は教職課程の学生に、学校現場において教育活動や校務、部活動などに関する支援や補助業務など学校における諸活動を体験させるものであり、教員免許状取得に必要な単位として認め、教育実習の単位の一部として充当できるようにするものです。教員養成の観点からは、長期間にわたり継続的に学校現場等で体験的な活動を行うことで学校現場をより深く知ることができ、教員に求められる資質や教員としての適格性の理解が期待されています。また学校側にとっては、様々な活動を支援する地域人材の確保の観点から有益なものとされています。これから平成 29 年度の実施に向け、既存の教育実習との間で役割分担の明確化を図るとともに、その円滑かつ確実な実施に向けて、受入れ校の確保や実施内容の検討等のための教育委員会や学校と大学との連携体制の構築が必要です。本協定は、教員養成と学校現場支援の両観点から、大学と教育委員会の間で試行実施と検討を行うために締結されることになりました。

【趣旨説明】



【締結の様子】



【締結後】

